

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造
基本目標(政策)	1-1	自然環境の保全と次世代への継承を図ります
基本計画(施策)	1-1-1	・自然環境の保全と自然資源の高度利用

	課	係
主管課・係	環境水道課	環境衛生係
	農林課	林政係
関係課・係	館岩総合支所振興課	企画観光係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか? ※対象(誰が、何が、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①町は自然資源を保護し、後世に継承していくため、町民の自発的な保全活動等を支援する。 ②町は自然エネルギーを活用し、公共施設等への積極的な導入を図る。 ③町は地球環境問題について自ら取組、町民、事業者への啓発を推進する。</p>																																																												
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <p>①尾瀬国立公園等の適正な管理保全。 ②自然エネルギー(再生可能エネルギー)の導入と普及啓発。 ③地球温暖化防止対策における二酸化炭素排出抑制。</p>																																																												
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 住宅用太陽光発電(蓄電)システム設置数(累計)</td> <td>箇所</td> <td>96</td> <td>110</td> <td>120</td> <td>119</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>B 新エネルギー導入公共施設数(累計)</td> <td>箇所</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>C 低公害車の導入台数(公用車)</td> <td>台</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	実績値	実績値	目標値	実績値	目標値	A 住宅用太陽光発電(蓄電)システム設置数(累計)	箇所	96	110	120	119	120	B 新エネルギー導入公共施設数(累計)	箇所	7	7	10	7	10	C 低公害車の導入台数(公用車)	台	10	12	15	12	15	D							<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか?</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>設置者が増加。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>補助金件数で把握。新築取付を考慮し現状件数で見込む。</td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>対象となる公共施設新規建設及び更新が少なかった。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>新規建設及び既存設備更新の情報収集と情報提供。</td> </tr> <tr> <td>C ④ 下回った</td> <td>使用目的・予算に応じ車種選定しているため低公害車優先の購入に至らなかった。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>使用目的や地域性により低公害車優先は困難。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	設置者が増加。	② このままで達成可能	補助金件数で把握。新築取付を考慮し現状件数で見込む。	B ④ 下回った	対象となる公共施設新規建設及び更新が少なかった。	④ 達成は困難	新規建設及び既存設備更新の情報収集と情報提供。	C ④ 下回った	使用目的・予算に応じ車種選定しているため低公害車優先の購入に至らなかった。	④ 達成は困難	使用目的や地域性により低公害車優先は困難。	D			
			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度																																																					
	実績値	実績値		目標値	実績値	目標値																																																							
A 住宅用太陽光発電(蓄電)システム設置数(累計)	箇所	96	110	120	119	120																																																							
B 新エネルギー導入公共施設数(累計)	箇所	7	7	10	7	10																																																							
C 低公害車の導入台数(公用車)	台	10	12	15	12	15																																																							
D																																																													
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																										
A ③ ほぼ目標値どおり	設置者が増加。	② このままで達成可能	補助金件数で把握。新築取付を考慮し現状件数で見込む。																																																										
B ④ 下回った	対象となる公共施設新規建設及び更新が少なかった。	④ 達成は困難	新規建設及び既存設備更新の情報収集と情報提供。																																																										
C ④ 下回った	使用目的・予算に応じ車種選定しているため低公害車優先の購入に至らなかった。	④ 達成は困難	使用目的や地域性により低公害車優先は困難。																																																										
D																																																													
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはありますか?</p>	<p>・尾瀬国立公園(田代山)の維持管理。(登山道、トイレ等) ・自然エネルギー(再生可能エネルギー)設備の積極的な導入と住民広報。 ・第2次南会津町環境基本計画及び南会津町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)検証。</p>																																																												
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>南会津町環境審議委員会による、第2次南会津町環境基本計画及び南会津町地球温暖化対策実行計画の検証と住民への広報を実施。委員より、住民への周知方法やゴミ減量及び子どもへの環境教育方法の提案有。ゴミ分別や減量について広報し地域住民の方に周知している。</p>																																																												

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾瀬国立公園(田代山)等の委託等による適正な管理保全と環境美化。 ・住宅用太陽光蓄電システムの普及促進。 ・地球温暖化対策実行計画(事務事業編)における職員への状況周知による認識共有。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国・県と協議し計画的な自然資源保護と、木道・登山道の整備。環境保全スタッフの育成と、外来植物対策方法。 ・特別豪雪地帯(西部)対応の再生可能エネルギー等の摸索。 ・地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の住民周知。
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に関わる人材育成及び事業等の連携を進める。 ・自然エネルギーの情報収集と、各課担当と連携し情報共有に努める。 ・町環境基本計画見直し(R5)、地球温暖化対策の住民取組型の体制づくりと周知。

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国立公園保護財団や住民と連携し、環境保全に努める。町内全域の状況把握と対策を長期計画を立て実施する。 ・自然エネルギーの開発情報収集。(安易な施設等の導入はせず、情報を見極める) ・現状の把握と計画の見直しに住民の意見を反映させる。住民一人ひとりの認識共有に努める。
-------------------------------------	--

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和4年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度予算額
01	住宅用太陽光発電システム設置費補助金	環境水道課	目的	環境負荷の少ない循環型社会の構築		
			概要	住宅等に設置する太陽光発電システムの経費の一部助成した。		
			成果	太陽光発電システムへの助成を廃止し蓄電システムへの助成事業に移行した。		
		環境衛生係	問題	令和2年度終了		
			対策	③廃止		
			事業費	180	819	0
02	住宅用太陽光蓄電システム設置費補助金	環境水道課	目的	環境負荷の少ない循環型社会の構築。		
			概要	住宅等に設置する太陽光蓄電システム導入経費を一部助成した。		
			成果	新規住宅建設等に伴い設置 9件		
		環境衛生係	問題	導入費用が高額である。豪雪地帯は、冬期間の設置効果が見込めない。		
			対策	①継続	他市町村の補助内容と豪雪地帯での設置状況を調査し、対策について調査研究を行う。	
			事業費	0	0	540
03	尾瀬国立公園環境保全管理事業	環境水道課	目的	自然資源保護、登山道整備、トイレ管理など		
			概要	尾瀬国立公園(田代山、帝釈山)の業務委託により管理を行った。		
			成果	尾瀬国立公園(田代山、帝釈山)の登山道やトイレの管理が実施された。		
		環境衛生係	問題	湿原への二ホンジカの進入、湿原内木道の老朽化対策、コロナ禍の観光誘客及び広報方法。		
			対策	①継続	国立公園として他県及び他町村と連携した対策検討と老朽化補修の計画策定。	
			事業費	8,837	5,936	6,116
04	再生可能エネルギー利活用推進事業	環境水道課	目的	豊富な自然資源をエネルギーとして有効活用することで自然との共存を目指す。		
			概要	豊富な森林資源や太陽光等を活用した自然エネルギー施設の導入を推進した。		
			成果	自然エネルギー施設の活用が図られた。		
		環境衛生係	問題	既存施設への自然エネルギー設備の導入と財源の確保。		
			対策	①継続	庁内での意識の共有と施設整備に係る財源の確保。	
			事業費	1,032	747	526
05	環境基本計画策定事業	環境水道課	目的	南会津町環境基本計画の検証と広報を行う。		
			概要	第2次南会津町環境基本計画の検証をした。(平成30年策定、令和元年度より検証)		
			成果	年度毎の検証を行い、次年度以降の施策や目標に取り組むことができた。		
		環境衛生係	問題	計画を毎年度検証、令和5年度の見直し時、地球温暖化対策及びSDGsを計画に織り込むが、その検証方法。		
			対策	①継続	職員のスキルアップと担当外の職員及び住民の意見を反映し、見直しを図る。	
			事業費	90	116	75
06			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
07			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			10,139	7,618	7,257	8,963